

こぼの力 からだの力 こころの力
園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和4年9月1日



「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



「共に育てるパートナー」
「学年だより」の見方

二学期が始まりました！



ようやく、秋の気配が感じられる頃になりました。元気に登園する子どもたちの明るい声が幼稚園に響いています。幼稚園の主役は子どもたち、ようこそお帰りなさい。

さて、二学期は「実りの秋」、運動会、作品展と大きな行事もあり、子どもたちはこの行事を通して一段と成長します。

子どもの世界では、園と家の区別がありません。きっとお家でも「運動会ごっこ」が始まることでしょう。先生の真似も子どもたちは驚くほど上手です。ご家庭でも園生活での様子を垣間見ることでしょね。冷や汗ものですがどうか笑ってあげてください。

環境から学びとる力を存分に発揮する子どもたちです。最大の教育環境は「大人」。言葉やまなざし、ふるまいなど、実によく観察しています。「見られている」ことを意識して、私たちが背筋を伸ばして子どもたちに向き合っています。

地域の皆さま感謝です！



8月22日（月）、教師たちで地域のさつまいも畑へ水やりに行ってきました。この酷暑に負けず、大きく葉を広げて立派に育っているサツマイモ畑を見て感激しました。酷暑の中、いかにお世話してくださっているかを痛感します。子どもたちの喜ぶ顔が嬉しくて…とお話される地域の皆さま。本当にありがとうございます。

子どもたちの歓声が聞こえてきそうです。9月下旬にはお土産にもって帰りますのでお楽しみに。



本園では、「からだ」「ことば」「こころ」の3つの力を総合的な活動の中で育てようとしています。

例えば、7月号では、年長児での「ことばの力」では、「自分の思いや感じたことを相手に伝えたり、聞いたりして相手の思いに気づく」ことを方向目標として設定しています。次に、実際の姿として、「友達や教師と過ごす中で、思いや感じたことを伝え合ったり、共感したりする様子が見られます。」とお知らせしています。

年少児では、「教師に嬉しいことや困っていることを伝える」を方向目標とし、実際の姿として「自分の気持ちを少しずつ言葉で伝えようとする姿が増えてきました」とお知らせしています。

歳児別に比較してみると、年少児では、まず「自分の思いを伝えること」を、年長児では、伝えるだけでなく「相手の思いに気づくこと」までをめざしています。

「ことばの力」を一つとりあげても、年少児から年長児へと、子どもの育ちを確かめながら、保育活動のねらいを高めていきます。

本園の強みは「共に育てるパートナー」です。

ご家庭でも、園でのねらいを共有していただき、例えば、「困ったときに言葉で伝える」機会を意識して大切にしてあげてください。ご家庭こそ、個別指導の絶好の場です。

自分の思いを言葉で表現する力は重要ですが、身に付けるには大変な時間を要します。



園では、ご家庭と共に取り組めたらとの願いを込めて「学年だより」に掲載しています。